



2021年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年3月11日

上場会社名 株式会社Macbee Planet 上場取引所 東
 コード番号 7095 URL https://macbee-planet.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋雄介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長(氏名) 千葉知裕 (TEL) 03(3406)8858
 四半期報告書提出予定日 2021年3月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第3四半期の業績(2020年5月1日~2021年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	6,702	35.0	533	34.3	533	35.0	378	40.7
2020年4月期第3四半期	4,964	—	397	—	395	—	269	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年4月期第3四半期	120.26		112.49					
2020年4月期第3四半期	101.92		—					

(注) 2020年4月期は第3四半期の潜在株式調整後1株あたり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第3四半期	3,017	1,717	56.9
2020年4月期	2,316	1,331	57.5

(参考) 自己資本 2021年4月期第3四半期 1,717百万円 2020年4月期 1,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年4月期	—	0.00	—	—	—
2021年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年4月期の業績予想(2020年5月1日~2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	39.2	620	65.7	619	70.3	427	62.0	135.79

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 業績予想の修正については、本日(2021年3月11日)公表いたしました「連結決算への移行に伴う2021年4月期連結業績予想の公表及び個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年4月期3Q	3,192,400株	2020年4月期	3,097,900株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年4月期3Q	46株	2020年4月期	—株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年4月期3Q	3,148,347株	2020年4月期3Q	2,640,000株
------------	------------	------------	------------

(注)2019年11月15日開催の取締役会決議により、2019年12月4日付で普通株式1株につき1,500株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetにて同日に開示しております。また、当社ウェブサイトにて同日に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け依然として厳しい状況にあるものの、各種政策の効果や経済活動の段階的な再開に伴って、持ち直しの動きが続くことが期待されております。

そのような状況の中、当社が事業展開を行う国内インターネット関連市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化等により、インターネット利用人口は2019年の1年間で13歳～69歳の各年齢階層において9割を超えて利用される状況となり、人口普及率は89.8%と高い水準を維持しております。また、FacebookやTwitter、LINEに代表されるソーシャルネットワーキングサービスの普及率は個人で69.0%（前年比9.0%増）と上昇を続けております。消費者がインターネット及びスマートフォンを利用する時間の拡大とともに、インターネットやスマートフォンに関連したサービスは更なる市場拡大が期待されております。

（注）数値は総務省「令和元年通信利用動向調査」より引用しております。

こうした環境のもと、当社は、新規取引先の開拓やプロダクトの開発に力を入れ、事業拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高6,702,132千円（前年同期比35.0%増）、営業利益533,606千円（同34.3%増）、経常利益533,656千円（同35.0%増）、四半期純利益378,613千円（同40.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（アナリティクスコンサルティング事業）

当セグメントにおきましては、既存案件の拡大や新規案件の受注が堅調に推移したことにより、売上高は6,475,265千円（前年同期比32.7%増）、セグメント利益は708,441千円（同3.1%増）となりました。

（マーケティングテクノロジー事業）

当セグメントにおきましては、Robee※1の新規導入先が堅調に推移したことにより、売上高は226,867千円（前年同期比168.7%増）、セグメント利益は118,461千円（同565.7%増）となりました。

※1 Robee…当社が展開するWeb接客ツールの呼称。データ解析と機械学習により、消費者のLPへの流入経路、行動パターンを収集し、消費者行動を予測することで、成果につながるマーケティングを実施しております。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して701,462千円増加し、3,017,865千円となりました。その主な要因は、売掛金が369,243千円増加したことに加え、現金及び預金が296,678千円増加したことによるものです。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比較して315,226千円増加し、1,300,445千円となりました。その主な要因は、買掛金が387,959千円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が47,281千円減少したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比較して386,235千円増加し、1,717,419千円となりました。その主な要因は、四半期純利益を378,613千円計上したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきまして、第3四半期累計期間の業績動向を勘案し、今後の計画を見直しました結果、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年3月11日）公表いたしました「連結決算への移行に伴う2021年4月期連結業績予想の公表及び個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,370,119	1,666,797
売掛金	825,729	1,194,973
その他	16,575	39,481
貸倒引当金	△4,782	—
流動資産合計	2,207,642	2,901,252
固定資産		
有形固定資産	20,112	15,268
無形固定資産	27,620	52,767
投資その他の資産	61,027	48,576
固定資産合計	108,760	116,612
資産合計	2,316,402	3,017,865

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	566,637	954,596
1年内返済予定の長期借入金	104,864	57,583
未払法人税等	100,237	87,282
賞与引当金	—	8,664
その他	164,832	141,614
流動負債合計	936,570	1,249,740
固定負債		
長期借入金	48,648	50,705
固定負債合計	48,648	50,705
負債合計	985,218	1,300,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	394,260	398,239
資本剰余金	385,460	389,439
利益剰余金	551,085	929,698
自己株式	—	△207
株主資本合計	1,330,806	1,717,171
新株予約権	378	248
純資産合計	1,331,184	1,717,419
負債純資産合計	2,316,402	3,017,865

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年5月1日 至2020年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年5月1日 至2021年1月31日)
売上高	4,964,592	6,702,132
売上原価	4,062,554	5,617,993
売上総利益	902,037	1,084,138
販売費及び一般管理費	504,636	550,532
営業利益	397,400	533,606
営業外収益		
受取利息	2	5
助成金収入	475	—
その他	18	666
営業外収益合計	496	672
営業外費用		
支払利息	2,420	607
その他	58	13
営業外費用合計	2,479	621
経常利益	395,417	533,656
特別損失		
事務所閉鎖損失	—	3,664
固定資産除却損	—	281
特別損失合計	—	3,945
税引前四半期純利益	395,417	529,711
法人税等	126,339	151,098
四半期純利益	269,077	378,613

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	合計 (注2)
	アナリティクス コンサルティング 事業	マーケティング テクノロジー事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,880,175	84,416	4,964,592	—	4,964,592
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,880,175	84,416	4,964,592	—	4,964,592
セグメント利益	687,043	17,794	704,837	△307,437	397,400

(注)1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期累計期間(自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	合計 (注2)
	アナリティクス コンサルティング 事業	マーケティング テクノロジー事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,475,265	226,867	6,702,132	—	6,702,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,475,265	226,867	6,702,132	—	6,702,132
セグメント利益	708,441	118,461	826,902	△293,296	533,606

(注)1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。